

JALグループ 2009年度 第3四半期連結業績の概況について

2010年2月26日

第09188号

JALグループは、本日、2009年度第3四半期連結業績の概況(平成21年4月1日～12月31日)を取りまとめました。

株式会社日本航空、株式会社日本航空インターナショナル及び株式会社ジャルキャピタルは、2010年(平成22年)1月19日に、株式会社企業再生支援機構に対し再生支援の申込みを行い支援決定を受けるとともに、同日、東京地方裁判所に対し会社更生手続開始の申立てを行い、東京地方裁判所より同手続の開始決定を受けました。

このような事態に陥り、株主・債権者の皆様をはじめとする多くの皆様に多大なご迷惑をおかけすることになったことについて深くお詫び申し上げます。現在は、株式会社企業再生支援機構の支援を受けつつ、裁判所の監督及び管財人らの指揮のもと、安全かつ安定した運航を維持しながら、当社グループの事業の再生に向けて全力で取り組むべく、全社一丸となって努力しております。

当期の連結売上高(累計)は、前年同期比4,144億円減少の11,448億円となりました。一方、営業費用は、殆どの費目で前年同期を下回り、同3,025億円減少の12,656億円となりました。この結果、連結営業損益は前年同期比1,119億円減の▲1,208億円、経常損益は同1,277億円減の▲1,533億円、当期損益は同1,760億円減の▲1,779億円となりました。

なお当期の連結財務諸表については継続企業を前提として作成しており、継続企業の前題に関する重要な不確実性の影響を反映しておりません。現在、管財人は会社更生法第83条第1項及び第3項に基づく時価による財産評定後の貸借対照表を作成中です。また、株式会社日本航空、株式会社日本航空インターナショナル及び株式会社ジャルキャピタルは、東京地方裁判所の決定に基づき更生手続を遂行することとなり、JALグループ連結業績の当会計期は2010年(平成22年)1月19日が期末となります。

1. JALグループ連結業績(4～12月)

(単位:億円)

	2009年度 第3四半期累計	2008年度 第3四半期累計	前年同期差額	前年同期比
営業収益	11,448	15,593	▲4,144	73.4%
(国際旅客)	(3,363)	(5,702)	(▲2,338)	59.0%
(国内旅客)	(4,557)	(5,209)	(▲652)	87.5%
(国際貨物)	(742)	(1,335)	(▲593)	55.6%
(その他)	(2,785)	(3,345)	(▲559)	83.3%
営業費用	12,656	15,681	▲3,025	80.7%
営業損益	▲1,208	▲88	▲1,119	
経常損益	▲1,533	▲256	▲1,277	
当期純損益	▲1,779	▲19	▲1,760	

億円未満は切り捨て

2. JALグループ連結輸送実績

内 際 別	(項目)	(期間)		前年同期比 (利用率は ポイント差)
		前第3四半期 自平成20年4月1日 至平成20年12月31日	当第3四半期 自平成21年4月1日 至平成21年12月31日	
国 際 線	有償旅客数(人)	8,891,313	8,159,881	91.8%
	有償旅客キロ(千人キロ)	39,970,292	36,521,975	91.4%
	有効座席キロ(千席キロ)	60,745,669	52,716,274	86.8%
	有償座席利用率(%)	65.8%	69.3%	3.5
	有償貨物トン・キロ(千トン・キロ)	2,901,189	2,267,463	78.2%
	郵便トン・キロ(千トン・キロ)	150,115	146,071	97.3%
	有償(合計)トン・キロ(千トン・キロ)	6,754,908	5,800,982	85.9%
	有効トン・キロ(千トン・キロ)	10,834,909	8,735,374	80.6%
	有償重量利用率(%)	62.3%	66.4%	4.1
国 内 線	有償旅客数(人)	31,940,692	28,415,288	89.0%
	有償旅客キロ(千人キロ)	24,254,824	21,626,956	89.2%
	有効座席キロ(千席キロ)	37,495,690	36,190,854	96.5%
	有償座席利用率(%)	64.7%	59.8%	△ 4.9
	有償貨物トン・キロ(千トン・キロ)	358,317	328,741	91.7%
	郵便トン・キロ(千トン・キロ)	22,012	17,675	80.3%
	有償(合計)トン・キロ(千トン・キロ)	2,198,078	1,966,757	89.5%
	有効トン・キロ(千トン・キロ)	4,471,163	4,309,828	96.4%
	有償重量利用率(%)	49.2%	45.6%	△ 3.6
合 計	有償旅客数(人)	40,832,005	36,575,169	89.6%
	有償旅客キロ(千人キロ)	64,225,116	58,148,931	90.5%
	有効座席キロ(千席キロ)	98,241,359	88,907,128	90.5%
	有償座席利用率(%)	65.4%	65.4%	0.0
	有償貨物トン・キロ(千トン・キロ)	3,259,506	2,596,204	79.7%
	郵便トン・キロ(千トン・キロ)	172,127	163,746	95.1%
	有償(合計)トン・キロ(千トン・キロ)	8,952,986	7,767,739	86.8%
	有効トン・キロ(千トン・キロ)	15,306,072	13,045,202	85.2%
	有償重量利用率(%)	58.5%	59.5%	1.0

(注)

- ① 国際線：(株)日本航空インターナショナル+(株)ジャルウェイズ+(株)ジャルエクスプレス
 国内線：(株)日本航空インターナショナル+日本トランスオーシャン航空(株)+(株)ジャルエクスプレス
 +日本エアコミューター(株)+(株)北海道エアシステム+(株)ジェイエア+琉球エアコミューター(株)
 ただし、前第3四半期は、
 国際線：(株)日本航空インターナショナル+(株)ジャルウェイズ
 国内線：(株)日本航空インターナショナル+日本トランスオーシャン航空(株)+(株)ジャルエクスプレス
 +日本エアコミューター(株)+(株)北海道エアシステム+(株)ジェイエア+琉球エアコミューター(株)
- ② 数字については切捨処理、比率については四捨五入処理している。

3. 今後のJALグループ連結業績見通し

現時点では業績予想の前提とすべき更生計画が未定であるため、今後の業績見通しについては発表を控えさせていただきます。

以上